

全労金2021春季生活闘争ニュース・第9号

【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】
今こそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！

各単組の要求概要を共有し 全単組で「統一闘争」を力強く展開しよう！

今号の紹介をもって、全単組の要求概要の紹介が終了します。

すべての要求実現に向けて、全労金組織全体で「統一闘争」を展開し、要求実現の大きな力に繋げていきましょう。

男女平等の取り組み

《次世代法・女性活躍推進法への対応》

◎要求する単組 1単組／セントラル

セントラル：中央機関各職場における両立支援制度への理解促進と協力体制の構築に向けて、労使で取り組むことを求める。

◎申し入れする単組 1単組／四国

四国：男性の育児休職の積極的な取得に向けて、取得しやすい職場環境の整備への協議を開始することを申し入れる。

《あらゆるハラスメント対策と差別の禁止》

◎要求する単組 1単組／北海道

北海道：夫婦別姓（旧姓使用）を認める制度を新設することを求める。

新型コロナウイルス感染症等の感染症対策に関する労働条件・職場環境の整備

◎要求する単組 2単組／中央・東海

中央：①「労働者自主福祉運動に根差した事業運営と長時間労働を前提としない業務運営の実践」の観点を盛り込んだ第7期中期経営計画の策定に向け、労働組合と定例的な協議を行うための労使協議機関を設置することを求める。（※単組は「良好な職場風土の構築」として要求）

②新型コロナウイルス感染症を疑う体調不良により休暇を取得させる場合、「年次有給休暇」ではなく「その他特別休暇」で対応することを求める。

③職場内で新型コロナウイルス感染症の罹患者が発生した場合、PCR検査・抗原検査を希望する職員には金庫負担で受検できるようにすることを求める。

東海：感染症法において定められている「一類感染症」「二類感染症」「三類感染症」「新型インフルエンザ等感染症」及び「指定感染症」に職員本人が感染した場合の「特別休暇制度」の新設を求める。

◎申し入れする単組 2単組／北海道(関連)・セントラル

北海道(関連)：コロナ禍における労働環境について、北海道労金サービス(株)に勤務する社員に対し、引き続き金庫・労働組合と連携した対応とすることを申し入れる。

セントラル：中央機関におけるメンタルヘルス不調による休職者の減少に向けて、新型コロナウイルス感染症対策の長期化によるメンタルヘルスへの影響が社会的にも報告されていることを踏まえ、労使で中央機関職員のメンタルヘルス不調の防止対策に取り組むことを求める。

連合は2021春季生活闘争のヤマ場に向けた

「2021春季生活闘争 政策・制度 要求実現 3.2中央集会」を開催!

連合は、3月2日(火)に「2021春季生活闘争 政策・制度 要求実現 3.2中央集会」をWEB開催し、2021春季生活闘争のヤマ場(3月16~18日)に向けた意志統一を図りました。集会には、全労金を含む連合構成組織、地方連合会から1,261名が参加しました。

集会の開会にあたり、神津里季生中央闘争委員長は、「コロナ禍の影響は業種・業態によって様々だが、それぞれの要求には、この1年間の組合員の大きい思いが込められている。この20年余りの賃金低下・雇用の劣化への逆戻りという、その危機をはねのけなければならない。コロナ禍の克服は社会全体で立ち向かわなければ成り立たない。先行組合が引き出す回答は、日本の将来をつないでいくためのメッセージとならなければならない。すべての働く者の処遇改善を実現し、何としても分配構造の転換を果たすため、連合は一丸となって闘い抜いていく」と述べ、まもなく迎える2021春季生活闘争のヤマ場に向けた決意を表明しました。

集会は、5つの部門別共闘会議(金属、化学・食品・製造等、インフラ・公益、流通・サービス・金融等、交通・運輸)、政策委員会の代表からも決意表明を受けた後、アピール(案)を採択し、最後に参加者全員で、2021春季生活闘争を最後まで闘い抜くことを誓いあい、相原康伸中央闘争事務局長のがんばろう三唱で閉会しました。

※ 次号は3月8日(月)に配信予定です。

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>)もご覧ください!

以上